

議会だより

第14号

<http://www.town.fujikawa.yamanashi.jp>



次代を担う
中学生たちが
町づくりへ提言
(中学生模擬議会)

富士川町議会

検索

■ 24年度決算報告	2
■ 委員会レポート	4
■ 議会改革	9
■ 一般質問(9議員が登壇)	11
■ ふじかわ昔ばなし	20

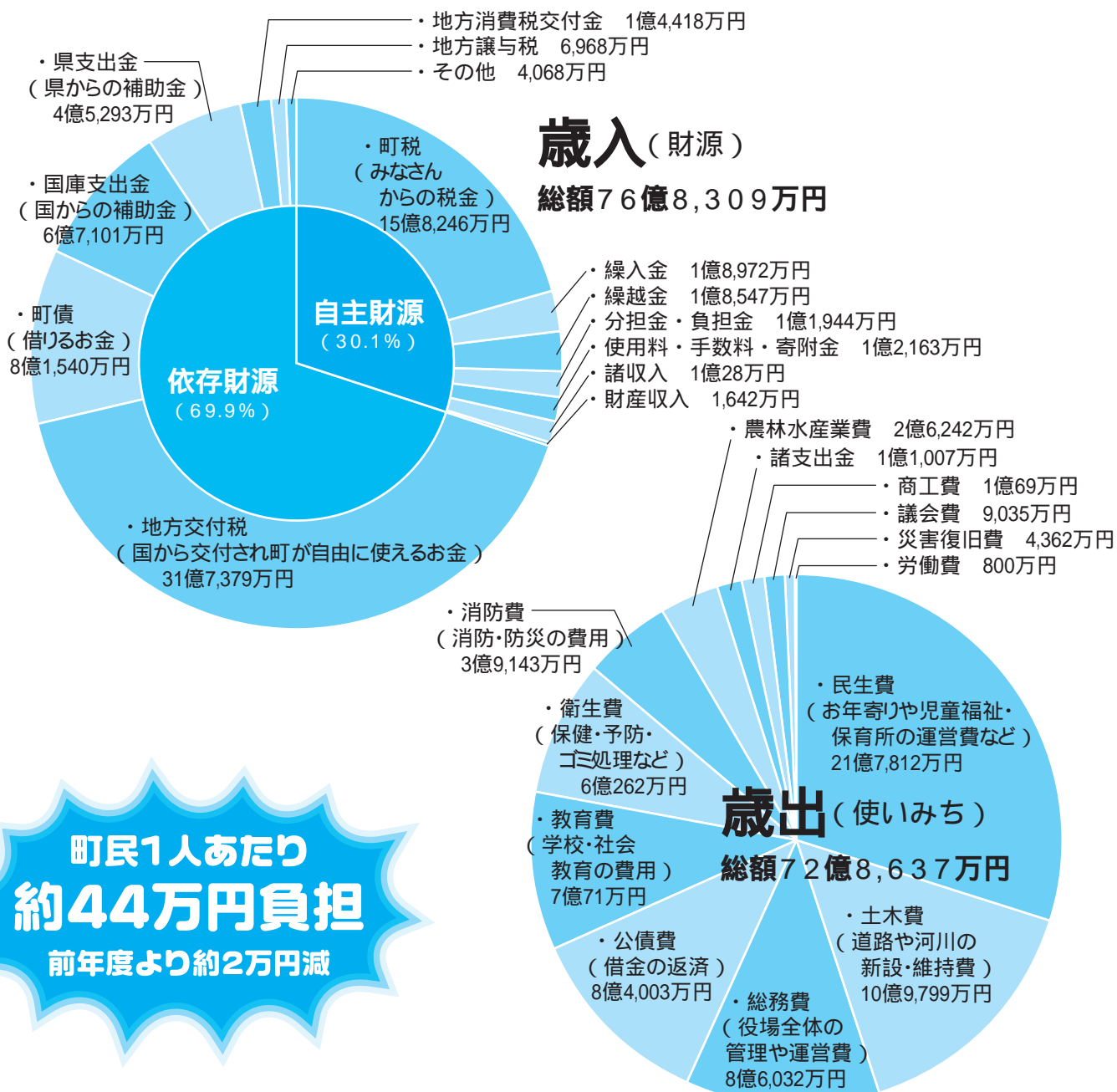
された？ お金！！

子育てなら 富士川町で！！

15日間の会期で開催されました。

子育て
おまな
決算にみる
施策

- | | | |
|---|--|---------|
| 1 | 子ども医療費助成(中学3年生まで)・ひとり親家庭医療費助成 | 6,676万円 |
| 2 | 妊婦、乳幼児健診 | 599万円 |
| 3 | 子宮頸がん予防ワクチン接種事業
(中1~高3、3回目までの接種済完了率は平成22年~24年の通年で519人中434人、73%) | 290万円 |
| 4 | 不妊治療費補助 | 216万円 |
| 5 | 定期予防接種、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン予防などは全額公費負担 | 2,596万円 |



町民1人あたり
約44万円負担
前年度より約2万円減

24年度決算

一般会計

72億8,637万円

どう生か

私たちの

9月定例会が9月6日から20日まで



太陽光発電システム



平成24年度に実施した主な事業

- ・文化ホール自主公演事業22本実施
- ・リサイクルステーション11カ所設置（総合計222基）
- ・太陽光発電システム設置55基、太陽熱温水器設置3基に補助
- ・新規就農総合支援事業 新規就農者1名
- ・平林地区ヘリポート設置
- ・橋梁整備計画策定に向けた橋梁点検実施
- ・大柵大久保線などの用地および建物補償
- ・十谷観光駐車場擁壁補強工事
- ・国民文化祭 富士川町主催事業の開催
- ・道の駅建設事業

平成24年度特別会計・事業会計

・国民健康保険	16億8,786万円	・鹿島財産区	0円
・後期高齢者医療	3億4,085万円	・カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	44万円
・介護保険	17億2,743万円	・活性化事業	1億8,140万円
・介護サービス事業	1億457万円	・峡南地区ことばの教室共同設置	101万円
・奨学金	0円	・峡南地区充指導主事共同設置	88万円
・簡易水道事業	1億5,003万円	・水道事業会計	
・下水道事業	6億1,248万円	・収益的支出	1億4,321万円
・営農飲雑用水事業	347万円	・資本的支出	9,945万円
・箱原農業集落排水事業	1,400万円		

委員会レポート

決算特別委員会（全体会）

答 税務署、ハローワークとの駐車料は賃貸契約を結んで使用料を徴収している。

LED防犯灯への取り替え費用は

答 LED防犯灯1基約1万2千円。

コンビニ交付、カードの交付率は

答 平成24年度の発行枚数304枚、交付率は9.8%。

学校には小児用AEDがあるのか

答 パットを替えて使用できる。

十谷観光駐車場は斜面が急、水はけやフェンスのぐらつきは大丈夫か

答 斜面については安定検査があるので大丈夫、フェンスは改修する。



擁壁補強された十谷観光駐車場

決算特別委員会（総務分科会）

不動産売り払い収入の筆数は

答 法定外公共物の払い下げが3筆、町有地の売却が1筆。

コミュニティ助成の件数は

答 2件、470万円。国民文化祭に出演した小林八幡太鼓と、鰻沢ばやしの大鼓購入に助成。

非常備消防費の減額は

答 平成23年度と比較して24年度は855万円減額。東日本大震災で23年度は消防団員が多く亡くなったため、公務災害補償負担金が増加した。

入札件数と平均落札額は

答 委託27件、91.3%、物品5件、81.8%、工事89件、96.5%、全体では121件、96%である。

通学路のカラー化工事は

答 平成25年度は3路線で1,345mを予定している。



カラー化された増小通学路

決算特別委員会（教育厚生分科会）

保育所で、食物アレルギーの対応は

答 卵や牛乳などのアレルギーがあり、マニュアルを作り対応している。

保育所園庭の芝生化は

答 第5保育所では園庭を芝生化した。工事期間が3、4カ月かかるため、他の保育所については今後検討していきたい。



芝生化された園庭

住民基本台帳カード

（L1バリュー）での利用状況は

答 住民票が296件、印鑑証明書が263件。窓口交付では住民票7、454件、印鑑証明書6、527件である。

ジエネリック医薬品の普及は

答 町単独で普及率を上げるのは難しい。県内市町村と国民健康保険団体連合会および県医師会が連携し、普及率向上に向け取り組む必要があると考えている。

小中学校の洋式トイレの普及は

答 各階に1、2カ所は設置したい考えである。設置費用は1カ所あたり約33万円かかり、一度に全学校に設置することは難しいが、前向きに取り組みたい。

各学校の借地料は

答 鵜小49.9万円、鵜中14.2万円、増中36万円、中部小12万円

小中学校の町単講師数は

答 講師21人、支援員4人、司書3人、養護教諭1人、合計29人。

決算特別委員会（産業建設分科会）

本町地区簡水の上水道との統合は

答 新田地区と山王地区の一部を平成27年度に給水したい。本町地区は平成29年度中を予定している。

下水道事業特別会計の利子償還額が1億円を超えているが元金の残額は

答 平成24年度末で残高46億6千万円である。

青年就農給付金には耕作面積の基準があるか

答 基準はないが、自立しているだけの収穫量を確保しなければならぬ。

株式会社になって

つくたべかんの冬の運営は
答 具体的な部分は今後検討する。

登山道整備事業の中身は

答 いくつかの登山道整備を森林組合に委託して行っている。

町有住宅の入居率を上げる
方策は、何かしているか

答 連帯保証人の基準を緩和している。また、家賃の改正に向けた検討も行っている。



町有住宅青柳町団地

鯉沢小中学校プール整備事業に 1億5,836万円

3億5,812万円の増額補正 **総額78億6,009万円**



鯉沢小中学校プール設置予定地

一般会計補正予算は
採決となり可決

一般会計補正予算は、修正
動議が提出され、先に修正案
の討論採決が行われた。
修正案は否決され、その後、
補正予算原案の採決が行われた。
(修正案の討論採決結果は次ページ)

その他の主な補正予算

平林へき地保育所解体等工事	278万円
長沢地区土地購入費	2,185万円
子ども・子育て支援事業計画基礎調査業務	172万円
峡南北部二病院統合事務組合負担金	450万円
農産物生産出荷システム支援事業	598万円
やまなし農業ルネサンス総合支援事業	258万円
温泉施設回数券購入	454万円
かじかの湯口ピーエアコン修繕	333万円
道整備交付金事業	3,980万円
道の駅モニュメント制作業務	840万円
臨時財政対策債借換債	9,753万円
職員人件費	3,316万円

採決結果

原案賛成

齊藤 正行、市川 淳子
井上 光三、永井 寛子
堀之内美彦、神田 智
望月 邦彦、深澤 勝雄
井上 勝、小林 進
保坂 實

原案反対

鮫田 洋平、長澤 健
秋山 貢、齊藤 欽也

- ・ 条例制定
- ・ 子ども・子育て会議条例の制定
- ・ 条例改正
- ・ 税条例の一部改正
- ・ 国民健康保険税条例の一部改正
- ・ 町立保育所条例の一部改正
- ・ 町営住宅管理条例の一部改正
- ・ 条例廃止
- ・ 生活改善センター条例の廃止
- ・ 不動産譲与
- ・ 平林生活改善センターを平林区へ
- ・ 十谷生活改善センターを五開区へ
- ・ 規約変更
- ・ 峡南広域行政組合規約の変更
- ・ 意見書提出
- ・ 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書
- ・ 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

一般会計補正予算 修正動議が提出される!!

修正案は
討論採決の結果

↓
否決

討
論

修正案賛成

鮫田洋平

太鼓堂をモチーフにした道の駅自体に十分インパクトがあり、十分なランドマークだと思ふ。なぜ別にモニュメントを作るのか理解できない。町民有志から200万円の寄付があり、総工費は2、800万円とのことだが、緊縮財政の中、当初の計画にもないモニュメントの制作より、手をつけなければならぬ事業はたくさんある。必要なものなら最初の計画に入れておくべきである。

長澤 健

知人の誰に聞いてもモニュメント作成に賛成する人がいない。モニュメント不要の意見がある限り、町民の声を無視することはできない。立ち寄ってもらう方法は、モニュメント建設ではなくソフト面の充実である。株式会社富士川の役員は、民間経営のプロなので、相談すべきだ。もっと優先すべき事業に予算を回

してほしい。

秋山 貢

制作総額2、800万円で計画されているランドマークとしてのモニュメント制作業務の、内金840万円を支出することは反対である。すでに太鼓堂をデザインした立派なランドマークがある。平成24年度から3年間に、外構工事を含めた工事総額は10億円になろうとしている。町の事業は、最小の経費で最大の効果が上がるよう行うべきである。

原案賛成

小林 進

モニュメント制作に至った経緯等は質疑で伺った。高速道路や一般道の利用者に対して、道の駅「富士川」の特徴づけや、集客向上と誘客促進に役立つことになる。住民有志による実行委員会が立ち上がり、広くモニュメントの必要性を周知し、趣旨に多くの方々が賛同している。

神田 智

道の駅立ち寄りには、飲食や

土産品、トイレ等だけでなく、家族連れや、カップルなどの集いの場となる。今回のモニュメントは、門の中で手を打った音が反響するという遊び心もあり、集客力の効果が期待できる。人が集まる事により、富士川町の宣伝もでき、三筋の観光ルート誘客への効果も期待できる。

堀之内美彦

モニュメントは竜をイメージしたものと聞いている。古来より竜は縁起物として扱われ、登竜門・鯉の滝登りとして形容されている。立ち寄られた方たちはモニュメントに秘められた制作者の思いに触れ、心の触発で将来・飛躍への一歩・糸口としていただければと考える。目先の損得に惑わされず町の将来の発展を考えるべきだ。中部横断道が開通しても通過されてしまう道の駅では本末転倒だ。

市川 淳子

「モニュメント」を建てようとして寄付を集めた人たちの思いを聞いた時、単なるランドマーク(目印)としてだけではなく、「町おこし」なのだと思

った。平林の登り窯で寄付の陶板を焼き、その燃料は山林の間伐材を使う。陶板は道の駅に飾られ、アートとして富士川町をアピールする。モニュメント制作者は、登り窯に十数年来通っているKUMASANさんで有名な篠原勝之氏。まさに「まちづくり」のシンボルである。

採決結果

修正案に賛成

鮫田 洋平、長澤 健
秋山 貢、齊藤 欽也

修正案に反対

齊藤 正行、市川 淳子
井上 光三、永井 寛子
堀之内美彦、神田 智
望月 邦彦、深澤 勝雄
井上 勝、小林 進
保坂 實

「まほらの湯」の指定管理者 株式会社まほら」に再指定

指定管理者の再指定について、討論採決となり、原案どおり「株式会社まほら」に指定することが可決された。

「指定期間」 平成26年4月1日から平成31年3月31日

討論

賛成

井上光三

当該指定管理者は「まほらの湯」の目的に沿ったサービス提供が行われており、一定の評価がされている。指定管理者が変更になった場合、職員が入れ替わることや、運営面で長期的な経営ができないことなどが弊害となっている。条例で、再指定の場合は公募によらないで候補者の指定ができることになっており、管理者として評価されている以上、再指定するほうが町民の利益となる。

深澤勝雄

まほらの湯の利用者からの評判は良いと聞いている。職員の対応は非常に親切で問題なく適切な管理が行われており、社員教育も行き届いている。このような中、協定書に基づき「株まほら」に町からの指定期間の申し出があつた事を受け、引き続き指定を受けたいとの意向については、温泉経営の意欲が伺え、今後の集客や収益増への経営努力が期待される。

井上 勝

今回地元の業者が引き続き指定されるということでは嬉しい。前回の業者は規模は大きい会社であつたが、地元に着した経営がされていなかった。燃料費の高騰等

で苦しい経営をしているときには、町民みんなで施設を育てていくことが必要だ。大きい企業は効率化だけを考える。町の施設は地元企業に経営してもらふことで安心できる。地元企業を育てることも必要。

市川淳子

指定管理で大切なことは、町民サービスをしっかりとしているかどうかであり「株まほら」においては苦情はない。赤字経営で企業努力をしないというが、今年度の決算書を見る限り、売り上げが百万円減にもかかわらず、燃料高騰で、光熱水費合計が昨年比で240万円の増である。給料は微増、賞与は年間合計11万円である。かなり企業努力をしていると考える。

反対

齊藤欽也

指定管理は公募による指定が原則である。5年前の指定管理者は赤字経営のため再指定されなかった。「安定的経営と経営努力がされている」から再指定するというが「株まほら」になつてから年間利

用者は2万人減の12万人である。経営体質・経営努力に問題がある。赤字で、かわいそうだから町が回数券を買い取る。これは友人・知人に情けをかける馴れ合い政治である。公正に再公募すべきである。

秋山 貢

平成23年3月に指定期間が満了したかじかの湯は、指定管理者を公募した。まほらの湯はなぜ公募しないのか。かじかの湯と同じように公募することが、公平性を確保し、住民に対して説明責任を果たすことになる。「株まほら」が、応募した複数の申請者のうちから適正な競争の中で、最もふさわしい団体として選ばれたならば、だれも異論を挟まない。公募しない再指定には反対である。

鮫田洋平

「株まほら」を指名することに反対ではない。公募を行わず再指定することに反対。平成22年度、24年度の貸借対照表と損益計算書をみると純資産は年々減り、営業利益は毎年赤字を出している。現状のまま競争もない継続をして

も、今後業績が上がるようには思えない。公募をし各社に事業計画を作成してもらい公平に選定し決定することで、町の施設の管理運営ができる。

長澤 健

現在の指定管理者は経営努力していると思うが、再指定よりも、公募することで情報が公開される。他企業と比較でき経営のプラスになる。それが、町民の利益にもつながるなどのメリットがある。

競争することは大事で、さらなる経営改善を図り、優良な経営をしてもらふために公募して企業力を高めてほしい。

採決結果

原案に賛成

齊藤 正行、市川 淳子
井上 光三、永井 寛子
堀之内美彦、神田 智
望月 邦彦、深澤 勝雄
井上 勝、小林 進
保坂 實

原案に反対

鮫田 洋平、長澤 健
秋山 貢、齊藤 欽也

議員報酬の見直し・費用弁償について

合併以来3年半、議会改革は少しずつではありますが、開かれた議会を目指して前進しています。今回は、「議員報酬」と「費用弁償」について、議会改革特別委員会で話し合われている内容を公開します。

● 議員報酬の値上げについて

富士川町議会では今、議員報酬の見直しについて議論しています。

現在、富士川町の議員の報酬は月額15万8千円です。実は山梨県は全国47都道府県の町議会の中で最低の報酬額になっています。

平成17年4月、旧増穂町では報酬を16万6千円から現在の15万8千円に減額した経緯があります。旧鵜沢町は合併前15万2千円だったので、6千円アップしたことになります。

地方議会議員報酬全国平均（平成24年度調査）

県議会議員	82万7千円
市議会議員	41万7千円
町村議会議員	20万9千円
富士川町議会議員	15万8千円

富士川町議会議員 活動内容

- ・年4回の定例会のほか、臨時会、全員協議会、常任委員会、特別委員会、視察などである。
- ・上記以外に町の行事への出席、地域活動、個人活動などがある。
- ・県議会、市議会、町村議会と行政上の違いはあるが、活動内容は変わらない。

これまでの話し合いの内容

- ・子育て中の方は、なかなか議員になれない現実がある。
- ・今後若い人たちに議員になってもらって、この町の将来を託したいが、生活のことを考えると議員になってくれる人がいないのではないか。
- ・町民に理解してもらうためには、それだけの活動をしていることを町民に示し、議会の信頼を得なければならない。

● 「費用弁償」って知っていますか？

「費用弁償」とは議会出席の日当のことです。議員は、議員報酬とは別に議会に出席すると1日1,200円（富士川町の場合）日当がもらえます。費用弁償の対象は、定例会、臨時会、全員協議会、特別委員会、議会運営委員会、常任委員会です。県内では、身延町と富士川町だけがこの制度を残しています。理由の一つに、議員報酬が少ないために費用弁償で補うということもあります。

平成24年度、費用弁償の一人あたり平均支給額は年額約7万7千円でした。

これまでの話し合いの内容

- ・議員報酬は、議会に出席することが当然含まれているわけで、改めて日当をもらうのは“報酬の二重取り”と批判されても仕方がないものだ。廃止すべきである。
- ・報酬が少ない分、費用弁償とセットで考えてもいいのではないか。

中学生、女性が活発な意見!!

～中学生、女性の模擬議会開催～

中学生模擬議会

8月20日(火)に、町内中学3年生を対象とした中学生模擬議会が開催された。町の本会議場を使用して本番さながらの議会で、14人の生徒が一般質問を行った。

中学生模擬議会は、次代を担う子どもたちが「中学生議会」を通して、町の将来について考え、自ら町づくりに参画していこうとする意識の醸成を図ることを趣旨としたものである。

中学生の主な質問

- ・リサイクルステーションによるごみ減量の効果は
- ・中部小の統廃合の経緯と、今後の中部地区を活気ある地域にするための方策は
- ・子育て支援は
- ・大型店舗の出店で商店街の衰退が考えられるが活性化対策は
- ・消防団員が減少しているが団員確保の取り組みは
- ・東海地震に対する避難施設の整備、防災対策、食糧の備蓄は



女性模擬議会

9月29日(日)に、町内の20歳以上の女性を対象とした女性模擬議会が開催された。中学生同様、町の本会議場を使用しての議会で、14人の女性が一般質問を行った。

模擬議会は、男女共同参画のまちづくりを推進するため、女性の政策・方針決定の場への促進や、町政への関心を深め、女性の声を反映させることなどを趣旨としたものである。

女性の主な質問

- ・道の駅周辺の商業開発は
- ・環境問題はどのような対策を考えているか
- ・男女共同参画社会の実現に向けた具体策は
- ・若い世代の定住人口を増やす対策は
- ・増穂商業高校の存続は
- ・食糧自給率拡大を図る取り組みは
- ・認知症などに対する取り組み、対応は
- ・母子寡婦福祉会を支える相談員の設置は



行政視察

実施日 平成25年8月8日～9日

研修場所 岐阜県郡上市・第3セクター

岐阜県郡上市の第3セクターは、総務省の平成21年度「地域力創造優良事例」に挙げられ、「稼げる第3セクター」として、文化施設・道の駅・PAサービス施設運営に積極的に取り組み、成果を上げている。

研修では、郡上市役所商工観光部付部長特命担当兼道の駅統括から説明を受け、現地視察を行った。今後、道の駅を運営していく富士川町にとって、大変参考となる研修になった。



道の駅直売所を視察

広報常任委員会研修

実施日 平成25年8月28日～29日

研修場所 群馬県吉岡町

吉岡町は町村議会広報全国コンクールで平成23・24年度と優良賞を受賞しており、広報づくりのポイントから、議会が取り組んでいる事柄をどのように広報に反映させるかなどの点について研修を行った。

研修では、吉岡町議会議長、および広報常任委員全員が出席し、広報づくりから、町づくりにわたり幅広い意見交換を行った。今後の富士川町議会だよりの編集や発行の参考になった。



吉岡町で活発な意見交換

町政を問う 一般質問

齊藤 正行 議員



問 増穂西小学校の統合は

答 地域の意見や議会の動向を踏まえ結論

問 教育委員会では、来年3月で増穂小学校に統合と判断したが、町の考えは。
町長 教育委員会は、将来を担う子どもたちの良好な教育環境を提供するため、小中学校適正規模・配置検討委員会を設置し検討していただき、学校規模適正化基本方針を策定し、地域の説明会やご意見を伺う中、協議を進めてきた。
 教育委員会の考え方を尊重するが、統合の時期はもう少し時間があるため、地



体育館でフットサルを

増穂西小



鯉沢中部小



五開小

域の考え方や議会の論議を踏まえ、幅広く検討したのち結論を出したい。
問 基本方針では、南小学校は少人数教育を必要とする児童の対応のため、継続配置とするものの、今後、児童数の推移によっては検討を行うとしたが、何人になれば検討するか。
教育委員長 全校児童数というだけでなく、入学児童の推移や学年間の状況など、学校全体の教育環境を見据え判断していく。

問 西小学校が閉校になれば、スクールバスを走らせると教育委員会の説明にあった。存続した場合は。
教育長 小学校の統廃合対象地域は、中学校を含めたスクールバスによる送迎を行う。

フットサル施設は

問 中山間地域の小学校体育館を改修して、町内外の愛好者を呼び込む考えは。
町長 閉校した五開小、統廃合の検討対象の中部小、西小の体育館は一般の方の利用が少ないことから、フットサルを活用し地域に人を呼び込むことも一つの方策と考え、地域の意見を伺いながら改修を進めていく。

テニス場に隣接するトイレの改修は

問 利根川公園テニス場に隣接する公園トイレは、テニス場に見合った改修を。
建設課長 利用者の意見を聞き検討する。

問 鯉沢本町地区簡水の上水道への移行は

答 水道事業経営変更認可申請手続きを進める



長沢けん 議員

問 現在の上下水道と簡易水道の耐震の状況は。
上下水道課長 上水道は全体の17・9%。簡易水道は14・1%である。
問 町内ではどのくらい石綿管が使用されているのか。
上下水道課長 上水道は使われてない。簡易水道は平成24年度末時点で約570メートル使用。
問 石綿管の撤去費用は。
上下水道課長 約5、400万円かかる。国庫補助事業を活用して整備する。
問 国庫補助金と、特別会計の割合は。

上下水道課長 4分の1が国庫補助金になる。
問 一般会計からも捻出するのか。
上下水道課長 簡易水道の収入源の主は使用料。工事費の補助金と自主財源で足りない部分は、一般会計からの繰入金を使わないとできない状況。

問 石綿管撤去業者の資格確認、選定は。
上下水道課長 資格を持っているかは確認していない。水道事業者の選定時に確認



鯉沢本町地区簡水 大法師浄水場

する。
問 鯉沢北、中、南区は上水道に移行して管理を簡素化すべきだと思いが。
上下水道課長 鯉沢本町地区簡易水道は、水道事業経営変更認可申請の手続きを進めている。統合後の上水道経営状況を精査し、施設整備、水道料金体系も考慮し、統合事務を進めている。

問 上水道・簡易水道とも作業効率を上げるため台帳管理からデータ管理に変える考えはあるか。

上下水道課長 簡易水道と上水道との統合を機に、データ管理システムを検討していきたい。

平林伊奈ヶ湖線の整備とふるさと自然塾の活用は

問 町道平林伊奈ヶ湖線は、いつごろ全線開通になるのか。
建設課長 今年度以降、約3億から4億円の事業費を要する。平成33年度ころ全線開通の見込み。
問 建設する目的は。

町長 さくら池周辺整備も行ったので、ふるさと自然塾への連絡道として、大型車輛が通れるよう道路の拡幅を行っている。

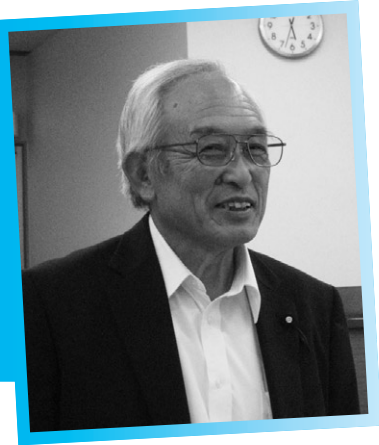
問 大型車輛が通れるようになれば、活用方法が広がると思いますが、町の考えは。

商工観光課長 現在、団体での利用は年間2、3件。全線開通すれば団体客の利用が見込めるので、受け入れ態勢を確立した上で学校の課外授業、動物の観察会、自然体験プログラムなども検討していきたい。

問 国の合同庁舎整備促進をどう進めるか

答 町や峡南圏域の核施設として早期事業化を要望する

望月邦彦 議員



問 旧鵜沢町では、シビックコア地区計画を策定し、国の合同庁舎整備促進を県や国に要望してきた。この計画では、国の官庁施設の検察庁・法務局・税務署・労働基準監督署・職業安定所の5つの機関を、一つの建物に集約する整備促進事業である。建設場所として鵜沢病院跡地を予定してきた。早期実現できないか。

町長 合同庁舎の建設は、本町や峡南圏域の行政サービスの向上に寄与するほか、鵜沢地区の中心市街地の賑わいにあふれたまちづくり

を推進する上で、最も期待している核施設である。国に早期事業化を強くお願いしていく。

問 建設用地の面積は確保されているのか。

建設課長 合同庁舎の建設用地は、鵜沢病院跡地を、約4千平方メートル確保している。



鵜沢病院跡地

鹿島・落居トンネル建設は

問 過疎地域市町村道整備県代行事業として、旧鵜沢町と旧六郷町を結ぶ町道鹿

島落居線の新規実施箇所を選定して、「交流ふれあいトンネル橋梁整備事業」として工事が進んできた。現在一時休止しているが、市川三郷町との期成同盟会を再開する考えは。

町長 峡南地域の産業振興および地域間交流の路線として、国道52号へアクセスする重要な路線である。中部横断道の工事も着工され、平成28年度には供用開始の予定であり、早期に市川三郷町と協議を整え、建設促進期成同盟会の再開を図る。

インフラ整備は

問 情報化の時代といわれる中、すべての人々が便益を享受できるよう、情報通信機能が遅れている地域の解消計画はあるか。

企画課長 この事業を進めるには、光ケーブルの整備が必要である。総務省ではブロードバンド未整備地域を解消するため、情報通信利用環境整備推進事業を実

施している。今後、中部・五開地区を段階的に整備することも含め、検討していきたい。

防災課長 戸別受信機設置は、住民アンケート調査を実施し検討している。

福祉保健課長 双方向性通信機能は、光ケーブルによる情報通信基盤の整備を土台として、戸別端末などの設置で音声や画像による各種相談・見守り・安否確認を行うことができる。基盤整備が進展すれば検討する。



トンネル工事が待ち望まれる鹿島地区

問

地域いじめ防止基本方針 策定の考えは

答

国の基本方針が 示されたのちに検討

堀之内美彦 議員



問 学校・児童相談所・警察などと連携した、いじめ問題対策連絡協議会の設置の考えはあるか。
教育長 設置する方向で検討していく。

災害時要援護者の 避難対策は

問 町における要援護者名簿作成は、どのようになっているのか。

防災課長 災害時要援護者登録制度を活用し作成している。登録者数は192人で対象者からの掲載率は約22%である。災害時に有効活

用できるよう毎年、内容を更新している。

問 災害時要援護者を守るためにも、登録者を増やすことが重要だが。

福祉保健課長 個人情報保護法が壁になってきている。生命の保護を第一優先とする考えの視点に立ち、関係する課と協議し、支援を必要とする方を名簿に記載できるように対応策を考える。

問 過日の新聞報道によると本町は本人の同意がなくても名簿に掲載できる条例を検討とあったが、町長に状況

を伺う。

町長 個人情報保護法の中にも、住民・国民の生命・財産を守る場合はこの限りではないとあり、登録制度に使うという限定で名簿作成を進めたらと思う。本町は自助・近助といっている。一番身近な近所の人で誰が誰を見守るのか、今後の課題として研究していく。

問 災害対策基本法に避難所の環境整備、避難所以外の場所に滞在する被災者への配慮について盛り込まれたが対応を伺う。



今年行われた福祉避難所設営訓練

防災課長 安全性・居住性の確保や避難所における食糧・衣料・医薬品など、関連物資の配付措置については共助を基本に各区で努めていただし、公助として避難所施設の安全点検や防災資機材の拡充を推進する。

介護予防対策、効果的・効果的の見直しを

問 要介護者向けサービスの見直しによる利用者への影響は。

福祉保健課長 介護保険給付から切り離された場合は、同様のサービスを全く廃止するのではない。多様な受け皿を用意し、介護予防サービスや生活支援サービスを利用者の状況に合わせ、効果的に提供するために地域支援事業として実施する。今後は町の創意工夫によって、どのようなサービス体制を構築できるかによって、これまで以上に利用者のニーズに応えることができる。考える。

男女共同参画推進条例の必要性は

必要性は
人一倍感じている

市川 淳子 議員



問 平成24年6月定例議会でも男女共同参画推進条例が本会議に提出されたが継続審議となり、9月議会で否決され、条例制定には至らなかった。

しかし、この否決の理由は決して条例自体の必要性を否定するものではなかった。当局は否決された理由をどのように受け止めているのか。

町民生活課長 条例自体の制定は必要だが、中身について手直しなどが必要だという意見だったと思う。町として最善の条例を提案したが、否決されたことを重

く受け止めている。

問 条例制定を審議する場合、否決するにはいくつか理由がある。条例自体がこの町に必要な場合と、条例は必要だが内容を精査すべきなど。今回の条例制定の否決の理由は後者である。にもかかわらず、一度否決されたのでもう提出しないということか。

町民生活課長 否決された条例について、中身の精査をしている。今後、提出・提案を考えている。

問 条例制定の基本は行政が自主的に制定する法規であり、最終段階まで責任を負うものだと考える。今回のこの条例は、町民にとって非常に身近で、わかりやすい条例でなければならぬ。また、国・県も以前から推奨しており、旧鯉沢・増穂の2町には条例は制定されていた。現在峡南エリアの全町に制定されている。合併した富士川町にも必要性があるからこそ提案されたと思う。この条例を再度、

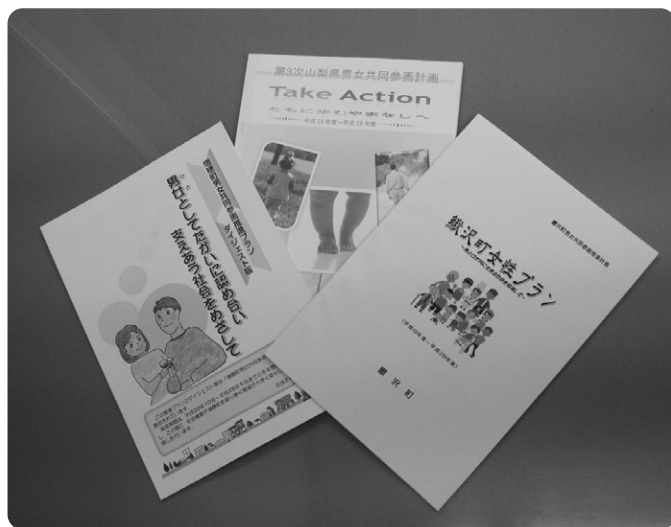
提出していただけると考えてよいか。

町民生活課長 富士川町では男女共同参画社会の実現を図る上で、憲章や推進条例は必要なものだと考えている。今回の否決という結果を受け、細部の指摘事項すべてについて検討が終わっていない。もうしばらく時間を要する。

問 町長は、合併後すぐに子育て支援課を新設し、県下でも高い水準で不妊治療

の補助制度を設けた。そして今年8月には中学生模擬議会を行い、9月には女性模擬議会をこの本会議場で行う。まさに、男女共同参画社会の実現のための政策を行っている。富士川町になって、この一期目に条例を制定すべきと思うが、いかがか。

町長 富士川町としてもこの条例は、人一倍必要だと感じている。調整ができ次第、提案していきたい。



待ち望まれる男女共同参画推進条例

問

西小統廃合問題 なぜ結論を急ぐのか

答

地域意見や議会の論議 を踏まえ結論を出す

永井寛子 議員



問 学校規模適正化基本方針では、南小学校は存続、西小学校は統合の方向が示された。基本方針が策定される前に、地域の方々の話し合いを何回か行った上で、の決定だったのか。

教育長 平成23年11月、地域との懇談会は行った。だがこの時点では統廃合の話はしなかった。

問 地域や保護者の方々が初めて統廃合のことを知ったのは、新聞報道であったということか。

教育長 その通りだと思う。児童数が減少して学校

の存続が危ぶまれているときに、統廃合を防ぎ、いかに存続させるかの取り組みを教育委員会はしてきたか。

教育長 過小規模校の充実のために、町単独の講師の配置など行ってきた。児童数の減少は町全体で取り組む課題と考えている。

問 西小の統合問題については基本方針策定後、保護者を対象とした説明会が2回、地区説明会が1回行われた。これで統合への理解を得られたと考えるのか。

教育長 統合へのすべての理解が得られたとは思っていないが、基本方針の考え方は理解してもらえたと思っている。

問 結論を出す前に、地域の皆さんや保護者ともっとじっくり話し合いを持つことが必要ではないか。

教育長 児童がどれだけ良い教育を受けられるかというところに主眼を置きたいが、地域に立地する学校なので、地元や保護者の皆さんの考えを尊重しながら、なお一

層対話を増やしていきたい。

問 学校がなくなればコミュニティの中心もなくなる。価値観が多様化している今日、中山間地域の豊かな自然や特色ある小学校の魅力は大きな町の財産でもある。

現に県外から南小や西小に入学を希望する家庭は、少なからずあるという事実をどう考えるか。

教育長 教育委員会としては、教育環境を主眼に置いている。



増穂西小学校

問 中山間地域の小学校の存続問題は地元だけでなく、まちづくりの観点から町全体としても考えるべきではないか。なぜ結論をそんなに急ぐのか。

町長 子どもたちの教育環境という面でいけば、教育委員会の考えを尊重したい。ただ、まだ時間はある。今後、地域の意見を聞いたり、議会の論議を踏まえながら最終結論を出していきたい。

問 0歳児保育を町立保育所で

答 来年1月から 第4保育所で実施

井上光三 議員



問 現在、0歳児保育は民間保育園に委託しているが、昨年、町立保育所でも0歳児保育が実施できるよう改修工事を行った。今後、町で0歳児保育を行う予定があるか。

子育て支援課長 0歳児保育は、私立保育園たんぽぽ子どもの家に委託しているが、定員に達しているため、町に受け入れの問い合わせがきている。昨年、第4保育所の整備を行ったので、今後受け入れ準備を進め、26年1月から0歳児保育を実施したい。

問 学校規模適正化については、昨年検討を始めてから統合に至るまでの準備期間が少ない。中部小学校と西小学校の統合を、平成26年4月とした理由は、**教育長** 過小規模校の統合問題は、合併前から両町で課題となっていた。今回、検討委員会の答申を受け基

学校適正配置 問題は



本方針を策定した。統合時期は、児童数の見込み、校舎の耐震診断の結果など、総合的に判断した。

問 基本方針で、統合する学校の児童数が1桁であるとの説明があった。今後、南小学校でも児童数が1桁になると閉校となるのか。

教育委員長 基本方針では1学年1学級を下限としている。学級では複数人の児童が在籍することが望まれ



0才児保育を実施する第4保育所

観光振興計画策定の進捗状況は

問 本年度、観光振興計画を策定していくとしているが、どこまで進んでいるか。地域や住民の意見をどのように取り入れていくのか。

商工観光課長 観光振興計画は、町の総合計画に基づいて進めている。現在、素案作りのための資料収集を行っており、今後、観光関係団体や、関係地域とも協議をしながら策定したい。

るが、全体児童数が1桁になることが、直ちに閉校の要件とは考えていない。

問 南小学校は「小規模校を必要とする児童のために残す」としているが、特別な学校として位置付けるのではと心配している。南小学校地区にも説明をする予定があるか。

教育長 南小学校を特別な学校として位置付けたものではない。今後、南小学校保護者や地域にも説明をしたい。

問 赤字経営の(株)まほらをなぜ再指定したか

答 赤字だが経営努力している

齊藤 欽也 議員



問 平成17年に「まほらの湯」の指定管理者となった(株)大新東は、異常な原油高のなか赤字を抱え、町に支援を要請したが、町は契約通り「損失の処理は企業の責任においてすべき」とした。そして、3年の契約期間満了をもって指定管理者制度の原則にのっとり再公募を行った。今回公募しないのはなぜか。

商工観光課長 苦情もなく安定した経営を行っている。電気代や油の価格高騰など社会状況の変化で24年度は赤字であるが、集客・収益

増の経営努力をしており、再指定するとした。

(株)まほらは経営努力しているか

問 いまの指定管理者を指定するとき、浴室・調理室周りなど、約1億円かけて施設全体を改修した。以前は年間約14万人が利用していたが、今の管理者になってからは約12万人と2万人減少した。経営努力しているといえるのか。

商工観光課長 周辺にも温泉ができた中で、物販の拡大と人件費の抑制をして努力してきた。

問 周辺に温泉ができたのはそれ以前である。「やまなみの湯」は最近利用者が増加している。それは経営努力のたまものである。

町長 大新東のときは、露天風呂は湯量を抑えたため苦情が多かった。今は好評を得ている。休館日も営業をして努力している。

問 町長は3月議会で、第3セクターの条例質疑の中

で「町が設備投資した上で指定管理に出したのに、赤字が出れば補助金を下さいでは困る。私もできればやりたい」と言った。町長の認識も「まほらの湯」は利用者も多く、やっていけるとの認識であると思うが。

町長 かつて大新東は、油価格高騰を理由に補助金を要求してきたが、(株)まほらは赤字になっても町へ補助



指定管理者が運営しているまほらの湯

金を要求していないし、経営努力をしているのでお願いしている。

問 7カ月前に再指定するのはなぜか。

町長 赤字改善のため、4～6月に町が利用回数券の販売促進を行ったが、計画通りいかなかった。さらに販売促進を行い経営改善するため、この時期に再指定する。

問 少子化対策に 義務教育費の無料化を

答 給食費は 減額できるか検討中

秋山 貢 議員



問 なぜ増穂西小学校を増穂小学校に、鵜沢中部小学校を鵜沢小学校に統合するための、条例改正案を今定例会に提出しないのか。

町長 地域の考え方や議会の論議など、さまざまな面から検討し、11月までには結論を出したい。

問 もし小学校の統合を延ばすと結論するならば、平林へき地保育所を廃止する一部改正と、この保育所を解体する補正予算を撤回するべきではないのか。

町長 地域の皆さんと話し合いをしてきた結果、提案

している。

問 富士川町全体を視野に入れた教育環境の整備が必要ではないのか。

教育委員長 通学区域の見直しを含め、学校規模の適正化を検討していくことが必要になる。老朽化している小中学校の建て替えや、学校給食のセンター化など、施設整備計画について検討する必要もある。

問 少子化対策として、小



給食の配膳風景(増穂小)

中学校の義務教育費(給食費・教材費・修学旅行費)の無料化を進めるべきではないのか。

町長 義務教育費の根幹部分の無料化は考えていない。給食費の全額無料化は大変なので、部分的に減額できるか検討に入っている。

問 貧困の連鎖を断ち切り、学びたい子どもたちが夢を諦めないで進学できるように、世帯の月収上限を決めるな

どして、返済不要の奨学金制度を新設する必要があるのではないか。

教育長 教育的部分においては、今後、奨学金の在り方をどのようにしていくのかは、課題だと考えている。

町長 町の財政がもつのかどうか、財政面の効果も検討していきたい。

問 増中は築42年経過し、ほとんど限界にきている。平成30年には増中292人、鵜中67人の生徒数が見込まれる。両方合わせても、現在の増中の生徒数352人と変わらない。30年度には建て替え、鵜沢中学校と統合し、新生富士川中学校をつくるべきではないのか。

町長 公共施設の再配置計画の中で検討していきたい。

問 鵜沢中学校周辺の定住人口を、増やす取り組みをすべきではないか。

町長 築後44年を経過する町営東田住宅や県営住宅がある。県と協議し、住宅の建て替えや宅地分譲など検討していく必要がある。

ふじかわ昔ばなし

思い沢と日恵さん

今から740年ほど前、現在の小室山妙法寺が、まだ真言宗の道場だったころの話です。

そのころ小室山の住職は善智法印と言う山伏の棟梁でした。

あるとき、善智法印の許婚だった京の「朝顔姫」が法印を慕い、山坂を越えはるばる小室までやって来ました。

しかし、小室山は真言宗の道場として女人禁制の掟があつたため、姫は法印に会うことができず、小室山の前を流れる川を一つ隔てて日夜思い悩んでいました。不運は重なり、朝顔姫の手足は、旅の疲れで傷ついて腫れ上がり、膿さえ出始めていました。

ちょうどそのころ、小室山改宗のためこの地に来ていた日蓮聖人がこの話を聞き、哀れに思つて、持っていた妙薬を姫の手足に塗ったところ、姫の苦悩は夢のごと

くに去り、傷もたちまち治りました。

これに感激した姫は、名を「日恵」と改め、深く聖人に帰依し、その後、この薬をもって世の病に悩む者を救つたそうです。

この薬は蛤の貝殻に詰められた膏薬で、妙法寺家伝の「夢想膏」（元祖赤膏）として、のちのちまで伝えられ、土地の人は「日恵さんの膏薬」といつて愛用し、昭和32年ころまで売られていたそうです。

また、朝顔姫が法印に会えず日夜思い悩んでいた川は、いつしか土地の人に「思い沢」と呼ばれるようになりました。朝顔姫と日蓮聖人の出来事があつてから間もなくの話ですが、善智法印もまた日蓮聖人に帰依し、名を「日傳」と改め、小室山妙法寺の一世貫首となつたそうです。また、日恵となつた朝顔姫がなくなつた後、日恵さんを忍んで日恵堂が建てられています。

（増穂町誌から転載）



日恵堂



夢想膏の石碑



思い沢（思沢川）

議会クイズ

- 問題1. 中学生の一般質問者は 人です
- 問題2. 24年度一般会計決算総額は 億 万円です
- 問題3. 鮎沢小中学校プール整備事業費は 億 万円です

《景 品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
 《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。
 ・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
 ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想
 《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中條1134
 富士川町議会事務局 行
 《締め切り》平成25年11月末日(当日消印有効)
 《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

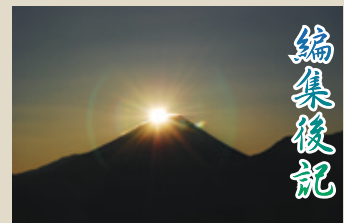
前回の答え

- (1) 地区懇談会参加者は144人。
- (2) 休日議会一般質問は9人。(3) 広報モニターは8人。

広報
常任委員会

委員長 神田 智
副委員長 洋平 智
委員 鮎坂 實
保坂 勝雄
深澤 勝
井上 井上
光 光

編集後記



東小林から町民体育館をかすめ、県森林総合研究所へ向かつて町を縦断するルートになった。夢の超特急と夢だけを語つていられる時は良いが、これからは課題が山積している。(井上 勝)

今年の夏は暑かつた。農作物も水不足と乾燥で大変な年であつた。彼岸花が咲くころは残暑があつたが、涼しさを取り戻した。ほっとしたころ、リア中央新幹線の詳細なルートが発表された。